

2014年1月～6月 世界の主な水災害マップ

英国(2月)
1月から続く豪雨と嵐により、イングランド南西部～南東部で洪水・土砂崩れが発生した。テムズ川流域でも洪水が発生し、死者は4名にのぼった。

バルカン半島(5月)
ボスニア・ヘルツェゴビナとセルビアを中心としたバルカン半島で、5月中旬から過去120年で最悪となる豪雨に伴う大規模な洪水が発生し、死者84名、避難者数は3万名以上に達した。

中国・香港(3月)
広東省と香港で暴風と雹に見舞われ、洪水や土砂崩れが発生した。死者は16名、行方不明者2名にのぼる。地下鉄や道路、空港でも混乱が生じた。

米国(3月)
ワシントン州オソで、大規模な地滑りが発生し、住宅と州道の一部を破壊、Stillaguamish川を閉塞した。死者数は43名にのぼった。

ブルンジ(2月)
2月9日の豪雨により洪水、土砂崩れが発生。多数の住宅が流され、交通や送電が遮断。死者は64名、行方不明者32名にのぼる。

南アフリカ(3月)
3月初めから続く豪雨により、北東部地域で洪水が発生し、死者は32名にのぼった。道路や橋が寸断されるなどインフラ被害も発生した。

アフガニスタン(4月)
4月後半から降り続く豪雨により、アフガニスタン北部の州で洪水が発生。死者は175名にのぼる。住宅と農地に広範囲での被害も発生した。

アフガニスタン(5月)
アフガニスタン北東部のパクタヤン州で豪雨が数日続き、大規模な地滑りが発生。死者数は255名にのぼる。

アフガニスタン(6月)
アフガニスタン北東部のパグラーン州で洪水が発生。死者数は86名にのぼる。橋、道路などのインフラにも被害が及んだ。

フィリピン(1月)
1月11日頃からミンダナオ島東部では低気圧の影響による豪雨に見舞われ、洪水や土砂崩れ被害が発生した。低気圧はその後、熱帯低気圧「AGATON(アガトン)」へ勢力を強めた。川の氾濫や道路・橋の破損も発生。死者70名、行方不明者9名にのぼった。

ソロモン諸島(4月)
熱帯暴風雨により、首都ホニアで洪水・土砂崩れが発生し、上下水道、電力、道路、橋へのインフラ被害も発生した。死者22名、行方不明者2名にのぼる。

インドネシア(1月)
雨季における豪雨の影響により、スラウェシ島及びジャカルタにおいて、洪水・土砂崩れ被害が発生。死者数は42名にのぼった。

死者	0～49名
死者	50～99名
死者	100～499名
死者	500～999名
死者	1000名～

※報道発表を基に、原則、先進国で死者数10名以上、途上国で50名以上の水災害を抽出

